２０２６年（令和８年）３月２４日　火曜日
デーリー東北　１５面　掲載

打撃練習で快音を響かせる菅沼晴斗＝兵庫県西宮市鳴尾浜臨海野球場

光星 きょう滋賀学園戦

初戦３安打菅沼 打撃練習で快音

選抜高校野球大会に出場している八戸光星は23日、兵庫県西宮市の鳴尾浜臨海野球場で約2時間の練習を行った。ナインは時折笑顔も見せるなごりラックスした雰囲気の中、滋賀学園との2回戦（24日午後2時開始予定）に向け、バットの感触を確かめていた。【20ページに関連記事】

ウォーミングアップ後は打撃中心のメニュー。投手との距離を近づけてのバッティング練習では、相手の左右、枚着板を意識し、芯で捉えるイメージを膨らませていた。

初戦で2ランを含む3安打を放った菅沼晴斗は「持ち味である力強いバッティングを出していければ。甲子園では3本のホームランを打ちたい」と意気込みを語った。（千葉達也）

選抜高校野球大会第6日の24日に滋賀学園と対戦する八戸光星。2012年以来の8強入りを狙う仲井宗基監督に、近年力を付けている相手の印象や攻略のポイントなどを聞いた。（小嶋亮文）

―チームの状態は。

初戦を勝つことができたが、多くの課題が出た試合でもあった。（初戦のように）ミスやエラーが出ると、ここから先を勝つことは難しい。気持ちを入れ替えながら、自分たちの力を最大限に発揮できるように調整を進めてきた。

―滋賀学園の印象は。

投手陣は、土田（義貴）君、佐田（倉吉）君の二枚看板が素晴らしいボールを投げている。打撃については初戦を見ていたが、もっと点を取れる印象があった。必ず修正してくると思うので、その勢いに飲まれないようにしながら、修正部分を修正させないような試合にしていきたい。

―攻略のポイントは。

攻撃面では低めの変化球を打たないなど、これまでチームとしてやってきたことをやるだけ。チームプレーに徹する。これに尽きると思う。

どんな試合になっても、相手より1点でも多く奪い、勝つことに最後まで集中していきたい。

チームプレーに徹する

光星・仲井監督 一問一答

2回戦への抱負を語る仲井宗基監督＝兵庫県西宮市の鳴尾浜臨海野球場

きょうの試合

【1回戦】
▽第1試合（9時）
熊本工（熊本）―大阪桐蔭（大阪）
【2回戦】
▽第2試合（11時30分）
静岡（東海）―中京大中京（愛知）
▽第3試合（14時）
八戸学院光星（青森）―滋賀学園（滋賀）

デーリー東北新聞社提供